

- 氏名 : 栢 徹夫
- 会員番号 : PEN-0194
- 専門分野 : Chemical/Process Engineering
- 保有資格 : 基本情報技術者(FE)・FE (Chemical)・PE (Chemical)

FE 試験受験 : 2018/05

PE 試験受験 : 2019/06



現在、エンジニアリング会社で主に海外案件のプロセス設計業務を担当しております。PE は社内推奨資格、また、最近携わっている北米案件の仕事では、実際に PE が sealing することでエンジニアリングが進む光景を目の当たりにし、今後、将来的に必要なようになってくるのでは、と感じ FE・PE 試験の受験を決めました。学習・合格を通じて、工学知識の再整理・技術者としての自信につながっていると感じております。

### 1. FE 試験 (CBT)

FE 試験については大学院を修了してから、なるべく数学・物理・化学の公式などを覚えている状態で試験に臨みたかったので入社 3 年目で受験を決めました。勉強するに利用した参考書は FE Review Manual (text only) 3rd (Third) edition by M. R. Lindeburg PE と FE Reference handbook です。FE の出題範囲・配点が高い範囲を集中的に勉強し、Example・Practice 問題を反復練習しました。また、Reference handbook を一通り読み込み、どこに何が記載されているか頭にいった状態で試験に臨み、CTB 試験無事合格することができました。

### 2. PE 試験 (CBT)

試験の勘を鈍らせたくなかったので、FE 試験合格してからすぐに PE 試験を受験することを決めました。勉強に利用した参考書は NCEES が公式に提供している PE Chemical Practice Exam と PE Chemical Reference handbook です。PE Chemical Practice Exam の中にある 80 問の問題を自分の中で納得するまで 2~3 回くらい解きました。また、Reference hand book は FE のときと同様で、一通り読み込み、どこに何が書かれているのか頭に入れた状態で試験に臨みました。出題内容のレベルとしては、大体 80 問の practice に記載されている程度の内容であったと記憶しています。PE 試験内容自体にも現職の設計業務にそのまま使える設計問題が多く出題される内容でしたので、設計業務上、役に立ったと感じることがありました。

### 3. PE 試験後～登録にむけて

PE 試験を合格してから、Education certification のため CREDENTIALS EVALUATION を進めました。大学・大学院で取得した学位証明書・成績証明書・取得した Course description を NCEES へ大学経由で送付し、NCEES から 2019 年 7 月に NCEES standard に meet しているという EVALUATION を取得しました。大学の Course description (シラバス) は基本的には日本語でしか記載されていなかったため、結局、自分で全 131 Credit 分英訳することになりましたが、必要書類の用意・NCEES への送付にご協力いただいた大学関係者の皆様にお礼を申し上げたいと思います。引き続き PE 登録に向けて頑張りたいと思っています。

以上